

オンライン動画で世界の大量にリーチする

Commonwealthは53か国からなるボランティア団体で、民主主義と発展における共通の目標に向けて加盟各国が相互に支援および協力しています。1965年に設立され、イギリスに本部を置くCommonwealth Secretariatは、その中心的な政府間機関です。

Commonwealthの首脳陣による同意が得られた計画を、技術支援、アドバイス、政策展開を通じてCommonwealth Secretariatが実施します。



Brightcoveの導入により、Commonwealth Secretariatはより多くのWeb視聴者を獲得することができました。

世界の3分の1に発信

Commonwealthの組織としての活動範囲は世界の3分の1を超えており、加盟国はオーストラリア、インド、カナダなどの大国から、キリバス、ナウル、ドミニカなどの小国までおよびます。実際に、Commonwealthに加盟する53か国のうち32か国は小国に分類されており、そのほとんどが人口150万人未満です。そのため、Commonwealthがすべての加盟国および加盟国民と効果的にコミュニケーションを図るため、そして人権、男女平等、医療、教育などの課題を推進するCommonwealthの重要な活動を紹介するためには、Webサイトエクスペリエンスはきわめて重要です。



Webサイトでの情報提供においてテキストは有効ですが、Commonwealthとしては、さらに動的な特性をWebエクスペリエンスに持たせたいと考えました。そして、動画を利用すれば、サイトに新たな一面が加わり、より魅力的でインタラクティブかつ視覚的に訴えるサイトにできるということに気づきました。

当初Commonwealthは、もともとテレビ用に制作した動画コンテンツを利用し、ダウンロードできるようWebサイトへ置いていました。動画を利用した取り組みはすぐに拡大し、完全内製のスタジオと編集スイートを使用して、オンライン用と放送メディア用両方の動画コンテンツが制作されるようになりました。CommonwealthはWebエクスペリエンスが動的になったことによるメリットを感じていましたが、動画戦略を次の段階へ引き上げるには、Commonwealthのニーズすべてに対応できる洗練された総合的なソリューションが必要でした。

ブライトコーブソリューション

Communications and Public Affairs部門のオンラインマネージャKevin Nellies氏が率いるCommonwealthの担当チームは、組織のWebサイトを開発したり、内製の動画機能を充実させるためにさらなる投資をすることもできれば、サードパーティのソリューションを利用することもできることに気づきました。数週間にわたるさまざまなサードパーティプロバイダの調査後、Commonwealthの要件を満たすためには、Brightcoveが最善の総合的なソリューションであると判明しました。



Kevin Nellies氏によると、Brightcoveには、Commonwealthにとって特に魅力的だった機能があるといます。

- **強力なシンジケーション機能** - Brightcoveは動画配信のための柔軟な手法を備えており、シンジケーションの関係とバイラル配信戦略をCommonwealthがカスタマイズできます。また、Brightcoveは複数の大手Webサイトと提携しており、Commonwealthのコンテンツを広く配信する機会を提供します。

- **動的配信** - 加盟国の多くが発展途上国で、欧州や米国のような帯域幅条件が整っているとは限らないため、あらゆるエンドユーザのネットワーク条件に合わせて動画配信を最適化できるというBrightcoveの機能はCommonwealthにとって非常に重要でした。

- **カスタマイズ性** - Brightcoveの拡張可能なプレーヤフレームワークおよびテンプレートにより、CommonwealthはWebサイトのデザインに合わせて、カスタマイズをこらした動画視聴を実現できます。Commonwealthは、シンプルなデザインのシングル動画プレーヤから、リッチなマルチ動画プレーヤまで、さまざまなサイズやレイアウトの中からニーズに合わせた選択ができます。

- **オンザフライのエンコード** - それまでCommonwealthでは、動画コンテンツをFlashへ手動で変換する必要があり、これは時間のかかる処理でした。Brightcoveを使用することで、CommonwealthのWebチームは任意の形式の動画ファイルをアップロードし、自動的にFlashやH.264形式と動的配信用の複数のレンディションにエンコードできるようになります。

「Brightcove 3 の新機能に関する料を読み、さらに市場におけるBrightcoveのブランド認知の高さを目にすれば、我々のオンライン動画ニーズに対応するにはBrightcoveプラットフォームが最も有効であることは明らかでした」と、Kevin Nellies氏は語ります。「動画は我々ではなく、Brightcoveの本業です。Commonwealthは、日々携わっている革新的なプログラムや取り組みを紹介する、質の高いコンテンツの制作に注力できるようになりました。」

より魅力的なストーリーを

昨年後半にBrightcoveプラットフォームを採用してから、Commonwealthは新しいオンライン動画エクスペリエンスから有望な成果を得ています。これまでCommonwealthには、動画コンテンツ関連の利用統計を追跡する手段がありませんでしたが、現在ではオンライン動画イニシアティブの有効性を正確に測定することができます。



「新しいマルチメディア戦略のおかげで、Commonwealthのストーリーの魅力は大幅に向上しました。」とKevin Nellies氏は語ります。「Brightcoveを使用することで、きわめて短時間のうちに動画をサイトに公開できるだけでなく、加盟各国の国民、ジャーナリスト、ブロガなど幅広い視聴者と、簡単に動画を共有できるようになりました。CommonwealthはWebに慣れているとは限らない視聴者に対して重要なメッセージを伝えようとするのが多いため、これは欠かせないことです。動画は、技術的な知識がなくても、誰でも理解できるメディアです。」

Brightcoveを利用したCommonwealthのオンライン動画は、Commonwealthが現在支持している主張やテーマに対し、より多くの人々の関与を引き出すことに貢献しました。現在では影響力の大きいブロガーたちと協力し、Commonwealthの動画コンテンツを彼らのブログに直接埋め込み、Commonwealthの影響範囲を広げることができます。

またCommonwealthは内部の制作プロセスを整備し、動画公開を効率化しました。Commonwealthがジャーナリストや報道機関を相手にする上で、これはきわめて有益です。現在では、放送用に配信するため、Commonwealthによるタイムリーな動画コンテンツがNewsmarketなどのサイトへプッシュされるようになりました。さらに放送局が、今後のプログラムの資料映像も含めた動画コンテンツをCommonwealthのサイトから簡単に利用できます。

またBrightcoveを使用することで、Commonwealthは重要なメッセージを配信する方法やタイミングをより柔軟に選べるようになりました。Commonwealthの事務局長や主要なスポークスパーソンが業界イベントや会議に出席できない場合には、スピーチやインタビューの動画を作成し、欠席するイベントの開催時に公開します。

今後、Commonwealthに対する加盟国やメディアコミュニティの関与および連携を最大限に高めるため、Commonwealthは引き続き動画ライブラリとオンライン視聴者ネットワークの構築を進める予定です。